

第 23 回公民館運営審議会定例会

令和 4 年 9 月 9 日（金）

午後 6 時 30 分から

第 1 会議室

（出席者）山崎会長、大串副会長、星野委員、高橋委員、三木委員、菅原委員、久保委員
井ヶ田委員、宮里委員
（事務局）立川館長、遠藤事業係長、山本管理係長

会長挨拶

館長挨拶

1. 第 22 回定例会（書面開催）の内容について

特になし

2. 報告事項

（1）東京都公民館連絡協議会委員部会について

- ・令和 5 年開催都公連研究大会のメインテーマについて、現在企画委員会で検討している。「2030 年を見据えた公民館の姿、コロナ禍を乗り越え進化する公民館」、2030 年は SDGs のゴールの年になるが、分かりづらいとの意見もあり、8 月下旬の企画委員会で検討を進めている。
- ・令和 4 年度第 1 回委員部会研修会を国分寺市本多公民館にて開催する。基調発表が国分寺市、リレー発表で狛江市、国立市、東大和市、シンポジウムとして倉持伸江氏に来ていただく。
- ・公民館調査について、「リモート環境」、「バリアフリートイレの設置の有無」の 2 項目を追加し、10 月 15 日を提出期限として、各市に調査をしている。

（2）公民館主催事業について

＜終了した講座の報告＞

- ・「JAXA 子ども科学教室」コロナ禍ということもあり、定員人数を絞ったが、67 名と定員を大幅に超える申込みがあった。
- ・「夏休みわくわく体験教室」複数の講座を子供向けに開催したが、多くの講座が定員を超える申込みがあった。5 講座のうち 3 講座は公民館利用団体に講師をお願いした。
- ・「ふれあいコンサート」80 名の申込みで、当日は 74 名の参加があった。年 2 回ふれあいコンサートを開催しているが、多くの方が楽しみにしているように感じる。

＜これから開催する講座＞

- ・時局講演会「首都直下地震被害想定から学ぶ防災力」10 月 13 日（木）に緑会館で開催。地域公民館事業のため、公民館ではない会場で行う。
- ・市民大学フォーラム公開講座「地球にやさしいクリーンエネルギー天然ガスって何だろう？」9 月 22 日（木）に開催。昭島市内の企業紹介ということで、昭島ガスについての講座となって

いる。すでに申込みを開始しているが、申込み人数が伸び悩んでいる。

- ・自主市民講座「楊名時健康太極拳」10月17日から全7回開催する。公民館利用団体が、企画・運営をしている。すでに申込みを開始しており、倍以上の申込みがある。

<市民文化祭について>

- ・10月8日（土）から11月3日（木・祝）にかけて開催する。

3. 各委員からの感想

【委員】

公民館とは前から馴染みがあったものの、委員の立場から、公民館の状況や目的、存在意義を考えた事がなかったため、委員として考えることで様々なことを学ぶことが出来た。今月で任期は終わってしまうが、自分の目で見て考えるという委員での体験を、これからも心掛けていきたいと思った。また、委員として、1人でも多くの人に公民館を利用したい、公民館を利用して良かったと愛される公民館、より良く生きていくための場であってほしいと思う。2年間ありがとうございました。

【委員】

公運審委員になって初めて、公民館という存在を知ったため、初めてのことばかりで難しいものだと思っていた。自分の活動もしつつ、公運審委員としても活動をしていて、時代と共に変わっていかねばならない部分と、変えてはいけない部分があるということを実感した。これで、公運審委員としての任期は終わるが、一市民として公民館の活動を周りの人たちに知らせていきたいと思う。ありがとうございました。

【委員】

社会教育法自体未だによく分かっていないが、社会教育法があって公民館が市民にひらかれていて、人々が集い、学び、つながっているということを公運審委員になって初めて知った。今年には公民館開館40周年ということで、この歴史ある昭島市公民館で、今後も人々が集い、学び、つながっていく公民館であるために何が必要なのかを考えていけるような心のゆとりを持っていきたいと思う。20期の委員の皆さんと会えて、公民館開館40周年の年に公運審に参加できて、すごく有難い経験をさせていただいた。ありがとうございました。

【委員】

近くに住んではいるもののなかなか公民館に来たことがなく、公運審に参加して公民館に来るようになった。歴史のある昭島市公民館がこれからも発展していくことを願っている。ありがとうございました。

【委員】

私は昭島市に引っ越してすぐは、公民館は KOTORI ホールの一部だと思っていた。それから公

民館を知り、公運審に参加し、実家の裏にあった集会場のような公民館と同じ存在だということが分かった。全くゼロの状態から参加し、沢山勉強させていただいた。ありがとうございました。

【委員】

公運審に参加して、みなさんと知り合えたことが何より良かった。公民館と市民会館の違いを分かっていない人が多い中で、公民館を利用している人たちは学びたいという意欲があり、公民館を有効的に活用しているのだと公運審委員になって知った。自分は自治会長であり、自治会館が付近にあるのだが、自治会館自体を会員のための学びの場にしていきたいと刺激を受けた。今年度、すでにセミナーを開催しており、これを機に公民館にも目を向けてほしいと思い、自治会内で活動をしている。2年間ありがとうございました。

【委員】

毎回の会議で、話を聞く中で学校だけでは見えない昭島市や公民館のことを知ることができて、嬉しく思う。公運審委員をしていた2年間、コロナ禍や自然災害、事故などで安全を脅かされることが多かったように感じる。命を大切にするために、公民館で何かできることがあるのではないかと考えている。公民館を知らない人や行った事がないという人が多く、地域によっては公民館が遠いということがあるため、学校教育と社会教育とが連携をして出張講座などで学校も活用してもらえると良い。現在、昭島市にはアキシマエンスや水など誇るべきところがたくさんあるが、昭島市公民館開館までの経緯も素晴らしいものであり、広めていきたい。ありがとうございました。

【副会長】

私は40年前に初めて昭島市公民館に来たときに、公民館以外何もないなという印象だった。私は昭島市の公運審委員の他に、国立市の公運審委員もしていたが、かなり違いを感じた。国立市公民館は利用する人が限られており、それに対して公民館は働きかけをしていない。しかし昭島市公民館は全ての市民に対して開かれた公民館という印象がある。同じ三多摩の公民館であっても雰囲気はこれほど違うのかと思った。令和4年3月にパンデミック禍の公民館として、まとめることができ良かった。ありがとうございました。

【会長】

先ほど国立市の話があったが、昭島市も国立市も市内に公民館が1館しかなく、利用しづらい地域もあるため、市立会館規模の公民館がもう少し東西にあると良いと感じる。福生市や羽村市などでも補助金を利用した市立会館などの学習等共用施設がある。附属設備だけでも市が支払うことで公民館として開館することが出来る。是非、次期公運審委員の皆さんに期待したい。ありがとうございました。

本日は、これまでの定例会の感想などを皆さんに話していただいた。まだまだ先が見えない状況が続くが、次期も委員をする方には是非頑張っていていただきたい。これで、第20期公民館運営審議会を終了とする。2年間ご苦労様でした。ありがとうございました。